



週末の体育祭に向けて暑く、熱く！！

ゴールデンウィークが終わり、体育祭取組もいよいよ佳境に入ってきました。今週末はいよいよ待ちに待った体育祭です。

「暑く」

5月に入ってから、気温がぐっと上がり、20℃を超える日も増えてきました。半袖登校をする生徒も増えてきて、運動しやすい気候になってきました。まだ夏前とはいえ、熱中症対策を十分に行いながら、体育祭活動に臨ませたいと思っております。自分の体のことが一番分かるのは、自分自身です。無理することなく適度に水分補給を行い、暑さに体を慣らしながら体育祭当日に向けて整えていきましょう。ちなみに、本日時点で体育祭当日の気温予想は、28℃(!)です。



「熱く」

3年生は最後の体育祭に向けて、入念に準備を重ねてきました。4月24日の体育祭結団式からゴールデンウィークをはさんだり、授業参観や午前授業もあったりしたので、準備日数は実質10日間。期間的には、十分と言えないかもしれません。それでも、自分たちにとって最高の体育祭を創ろうと、「選択と集中」で中身の濃い時間を過ごしています。

2年生はそんな3年生の姿を見て、中堅学年として自分たちができることをしようと、真剣に体育祭活動に臨んでいます。3年生の背中を見ながら、自分から動く。3年生の声を聞きながら、自分たちも精一杯の声を出す。この1年の成長が、その姿勢から、その眼差しから伝わってきます。中学生らしい引き締まった表情を見ながら頼もしく思い、期待しています。

1年生は初めての体育祭で戸惑いながらも、新しいこと尽くしの毎日を全身で楽しんでいます。以前の通信でも書きましたが、中学校生活については先生が教えるよりも、先輩が教えることが多いです。時に褒められ励まされながら、時に厳しさを持って指導されながら、先輩の教えに一生懸命ついて行っています。先輩のすごさを、全身で感じてほしいと思っています。

3年生を筆頭に熱い思いは伝播して、体育祭活動は日に日に熱を帯びています。それぞれの組団が熱心に活動に取り組む姿には、いつも胸を熱くさせられます。中学校ではよく「行事で生徒は育つ」と言ったりしますが、育てる人がいなければ、勝手には育ちません。育てる人がいるからこそ、育つ人がいるのです。川崎中学校では、体育祭活動においても、先生方がたくさん指示を出すことはありません。生徒が考えて、指示を出し、体育祭活動を自分たちでつくっています。育てる人は、『生徒自身』。これが、川崎中学校の伝統であり、誇りでもあります。

いよいよ今週末、5月16日(土)が体育祭。生徒たちが一生懸命創り上げる川崎中学校体育祭を、ぜひ楽しみにしててください。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

